

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第3回遊佐町水循環保全審議会
開 催 日 時	令和3年3月24日（水）午後1時30分から午後3時00分
開 催 場 所	遊佐町役場202会議室
出席委員の氏名	佐藤豊昭、佐藤裕士、高橋和久、佐藤仁、畠中裕之、時田一紀
出席職員の職・氏名	町長：時田博機、企画課長：高橋務、 企画係主任：村井孝徳
会議の公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
一部公開又は非公開の理由	
傍聴人の人数	0 人
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> その他（                      ）
審 議 の 内 容	<p>1. 開会 高橋企画課長が8名中6名の過半数出席しており遊佐町の健全な水循環を保全するための条例、第32条第2項の規定により、審議会が成立している旨を報告し開会する。</p> <p>2. 町長挨拶 ■時田町長：お忙しい中、遊佐町水循環保全審議会にご参集いただき御礼申し上げます。わが町の水は鳥海山の恵み。全ての産業について鳥海山の恵みを受けている。町の裁判は5年目に入り、最高裁まで係争が続くこととなった。裁判で全ての決着がつく訳ではなく、保全・緑化といった問題は続く。しっかり履行していただくよう、県当局と力を併せながら前に向かっていかなければならない。ご意見、お力添え賜りますようお願い申し上げます開会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>3. 会長挨拶 □会長：会議にご参集いただき感謝申し上げます。裁判については最高裁に記録が届き一息ついたといったところ。今回は湧水の調査結果、公害等調整委員会の経過について確認したい。町長の挨拶のとおり、裁判が終わっても植樹などの問題は続いていく。委員のお力添えをいただくようお願い申し上げます。</p> <p>4. 会議録署名委員の指名 会長より1番佐藤豊昭委員、8番時田一紀委員の指名あり。</p> <p>5. 審議 会長が議長となり審議開始。</p>

(1) について事務局より説明。

□委員：町が提起した附带上告の内容は、損失補償と訴訟費用についてのみか。附带上告状の趣旨を確認すると、全ての破棄を求めているように見える。

■事務局：附带上告は町の敗訴部分についての提起となっている。附带上告状の形式上、資料の表現となる。

(2) について事務局より説明。

□委員：採石事業を行っていた時の調査結果と、今回の調査結果は比較出来ないか。

■事務局：採石事業を実施していた時に地球研が実施した調査は水質検査であり、細かい調査を実施していた。当時は水量の調査は行っておらず、比較できるのは水温のみ。白井水源や横堰に流入する湧水量調査は今年新たに実施したものであり、比較できる物が無い。今回の調査で白井水源では毎時40m<sup>3</sup>もの湧水が湧き出していることが初めてわかり、吉出山の湧水量が明らかになってきた。あるべき湧水量として重要な証拠となるのではないか。

□委員：監視体制として、白井水源に濁度計を設置してはどうか。採石場で問題が起きればすぐに濁度として表れると思う。いち早く発見できるのではないか。

■事務局：令和3年度の調査は令和2年度の調査に加え、雨水が含まれているかを判断するために、電気伝導度を測定する予定。

□委員：雨水が含まれていれば、水温が気温に近くなるのではないか。

□委員：資料2-10で示されているとおり、雨が多かったと報告のあった9月15日以外の水温は10℃前後と安定している。ここに電気伝導度を測定し、雨の特定が出来れば、より良い資料になるのではないか。

□委員：電気伝導度はどのように測るのか。

■事務局：週1回現地に赴き、その時採水した湧水を測る予定。

□委員：継続的に調べる事は出来ないのか。

■事務局：機械を設置すれば可能と思われるが、その予算は確保していない。

□委員：重要な証拠となると思うので、多少お金がかかったとしても、機械を設置していただきたい。

□委員：資料2-10で10月20日、27日と採石場排水量がほとんどない。どういう状況か。

■事務局：季節的な影響と、直近の降水量が影響していると考えている。3月など雪解けの時期は湧水量が多いと考えているが、雪がなく、降雨が少ない時は湧水量が少ないことが考えられる。

□委員：白井水源では年間を通し一定した湧水が湧いている。採石事業による影響が無いのではないか。

■事務局：事業継続により、新たに水脈が傷つけられる可能性がある。白井水源にも影響が出る可能性がある。

□委員：調査結果によっては町が不利になる結果も出てしまうのではないか。

	<p>□委員：このような貴重な情報となりうる資料を配布して良いのか。</p> <p>■事務局：科学的知見の充実に努めている事をお知らせするため、町では実施した調査と結果を公表する予定。配布しても構わない。</p> <p>□委員：調査を実施しているに留め、結果は公表しなくても良いのではないか。</p> <p>■事務局：情報を抱え込んでいる方が問題と考えている。結果を公表することで、公のものになると考えている。会議録と一緒に公表したい。</p> <p>(3) について事務局より説明。 質疑無し</p> <p>6. その他</p> <p>①水循環保全計画について</p> <p>■事務局：水循環保全計画は策定から7年経過し、下記の点について補強したいと考えている。来年度以降、審議会委員の力を借り、出来るところから実現したい。</p> <p>1) 水質・水量調査を計画の中で位置づけ</p> <p>2) 水循環遺産の指定、基準の策定</p> <p>3) 町民・利用者向けの勉強、研修会の再開</p> <p>②保安林の伐採について</p> <p>□委員：現在西山で保安林が伐採されている。砂丘地砂防林環境整備推進協議会として見過ごすことは出来ない。委員の皆様よりお力添えいただきたい。</p> <p>□委員：警察への被害届と県への報告を2方向で対応してはどうか。</p> <p>7. 閉会 (15:00)</p>	
記 録 者	<p>作成年月日：令和3年3月30日</p> <p>企画課企画係 主任 村井孝徳 ㊟</p>	
会 議 録 の 署 名	<p>会 長 (畠中裕之)</p>	<p>署名年月日：令和      年      月      日</p>
	<p>会議録署名委員 (佐藤豊昭)</p>	<p>署名年月日：令和      年      月      日</p>
	<p>会議録署名委員 (時田一紀)</p>	<p>署名年月日：令和      年      月      日</p>

